

第2回 下松市地域公共交通活性化協議会

議事要旨

○日時：平成30年11月14日（水）14:00～

○場所：下松市役所 1階 103会議室

○出席委員：18名（欠席3名）

玉井委員、寶迫委員、河内委員、弘委員、清水委員、田中委員、六反委員、網本委員、吉村委員、秋本委員、手嶋委員、大野氏（大下委員代理）、西村委員、古本委員、行徳委員、今井氏（末富委員代理）、金織委員、古田尊委員

○事務局：企画財政課、株式会社バイタルリード

1 開会

2 議事

(1) 米川地区での地域の移動ニーズに対応した公共交通の導入に係る事業実施を交通事業者に対して求めた結果について

発言者	発言要旨
事務局	交通事業者からの提案はなかった。
会長	何かご意見等あればお願いしたい。
各委員	(特になし)

(2) 米川地区での地域の移動ニーズに対応した公共交通の今後の方向性について

発言者	発言要旨
会長	実証運行からの変更点と、本格運行をする上での概算経費等が示された。これについて、ご意見、ご質問はあるか。
委員	1便は7:21にサンリブに到着するが、そのあと、バスへの乗り継ぎはどうか。
事務局	サンリブの周囲には国道2号沿いに徳山方面行き、国道188号沿いに下松駅方面行きのバスが停まるバス停があるが、まだ現時点では時刻表まで精査できていない。実際に運行する際には検討する。 1便は周防花岡駅で鉄道に接続させることを想定している。サンリブや病院での路線バスへの乗り継ぎは要検討と考えている。
委員	運行業務で約1,000万円が計上されているが、これはどういうものか。
事務局	6:54発から19:00着までの運転と、始業前の点検、運行終了後の掃除も含めて約12時間となる。時間単価は1時間あたりおおよそ3,000円なので、1日の時間12時間と運行日数294日かけると、この金額となる。
委員	運転手は1名か。
事務局	実際は2名で交代しているが、1日に携わるのは1名である。
委員	サンリブ前に7:21に到着した後は待機するのか。
事務局	サンリブに7:21に到着した後は、次の便のため米川地区へ移動する時

	間となる。
委員	このサービスはいつからの運行開始を想定しているか。市の車両を用いる場合でも、道路運送法上の登録申請が必要である。また、国庫補助金を取りたい場合も要件がある。事業者が決まる前の調整段階から折に触れて運輸支局に相談してほしい。
事務局	今のところは H31 年 10 月 1 日からの運行を想定している。市町村運営有償運送を想定している。登録、申請の要件をクリアできるよう相談しながら進めたい。
会長	本日示した案は、たたき台としての内容とご了解いただきたい。1 便、7 便は通勤通学をターゲットに、2～6 便は、買い物や病院への移動を想定されるのだと思う。今は JR との乗り継ぎを視点として考えているが、次の乗り継ぎがスムーズにできるといいという要望が出てくるのだと思う。 この試算では、米川地区の実験での利用者の約 3 割が利用したと見込んでいる。さらに利用者を増やし、継続的に進められるような施策になればと思う。 利用者の視点からご意見はないか。
委員	バスが到着するまで待つ場所の整備をしていただけると助かる。高齢者は早めに準備等を行う傾向があるので、風雨をしのげるものが必要。
事務局	今年度待合環境の整備を行うこととしており、利用者数の多い上位 20 のバス停を抽出し検討しているところである。利用者数だけだと高齢者の多い地区は順位が下がる可能性があるが、住民からの意見も踏まえ総合的に検討できればいいと思う。今後も引き続きご意見をいただきたい。
委員	ありがたい計画である。いずれ高齢者は車を運転できなくなるため、活用するよう啓蒙していきたい。定着には努力が必要である。
委員	社協は、現在米川地区において「あったか便」を運行している。「あったか便」は毎週水曜日に運行しているが、地区を 4 つに分けて 1 回 1 地区を運行するため、実質月に 1 回しか利用できない。回数を増やしてほしいという要望がかなりあるが、ボランティアである運転手や補助員の確保が非常に難しい状況である。ボランティアをすると 1 日拘束されるということもあり、サービス開始以来、運転者が固定されていて新規のボランティアがなかなか入ってこない。こういったことがあって、米川の方々はこの運行について非常に期待をされている。社協としてもできるだけ地域の要望に応えたい。
委員	子どもたちに利用させてみるのも面白いと思う。
会長	スクールバスの運行はあるが、バスに乗る機会は少ないので、バスの利用の啓蒙、利用のきっかけになろうかと思う。
委員	下松市でもコミバスの取組が始まったということで喜んでいる。県内ではかなりの数のコミバスが運行されているが、黒字で運行しているところはほぼない。移動手段確保は行政の役目という認識で、県としても導入していただきたいと考えている。 300 円という運賃を設定した根拠があれば教えてほしい。
事務局	アンケート調査で支払意思額を聞いており、それを元に設定している。

委員	米川地区の住民のコミバスに対する期待は大きいと感じている。必要に応じて県警も協力していく。
委員	現在は大藤谷までバスが運行しているが、高齢化が進む中、玄関先まで来てほしいというニーズが高いと感じている。利用実態を見ても現在の大きな車両でいいのかということがある。また、運転士不足は大きな課題であり、今の運行便数を維持していけるのかという状況である。一定の需要がある部分とない部分で、役割分担を明確にする必要がある。交通事業者として可能な限りの運行を担っていく必要があると感じているが、少しでも利用していただけることがあってこそ話である。 貨客混載の取組として、山口市の農家の作物を広島バスセンターの売店に持ち込んで売るということを先月からやっている。県内で初めての取組である。また、子どもにもどんどん乗ってもらえるよう、長期休みの際に小学生以下に50円で乗ってもらえる取組を実施している。
会長	事務局から提示された案を基に、市と事業者で協議を進めるということとしたいがよろしいか。
各委員	(異議なし)

(3) その他

発言者	発言要旨
事務局	米川地区の待合環境について補足する。中山間地域の補助金で、米川小学校前等のバス停整備を行う予定である。ほかのバス停も積極的に補助金を取りながら進めていく。 また、未調整であるが、運行経路にある記念病院やサンリブ等から広告料をもらい収入を上げるとか、免許返納のPR、特殊詐欺被害防止のPRなどを車内で行うなど、付加価値をつける取組も含めて実施したい。
会長	全体を通して、ご意見等はないか。
各委員	(特になし)
会長	議事は以上で終了とする。

3. その他

発言者	発言要旨
事務局	次回は、2月中旬ごろの開催を予定している。
会長	本日は以上で終了する。

14:50 終了

— 委員名簿 —

	所属	役職	氏名
1	下松市	企画財政部長	玉井 哲郎
2	防長交通株式会社	営業部長	寶迫 啓之
3	中国ジェイアールバス株式会社	運輸部 生活交通活性化推進室長	河内 政好
4	西日本旅客鉄道株式会社	徳山地域鉄道部 徳山駅長	杉村 誠
5	メトロ交通株式会社	顧問	弘 嘉男
6	一般社団法人 山口県タクシー協会	理事	清水 延隆
7	下松市自治会連合会	会長	田中 豊
8	下松市老人クラブ連合会	会長	六反 弘道
9	社会福祉法人 下松市社会福祉協議会	常務理事	網本 哲良
10	下松市小・中学校 PTA 連合会 母親委員会	代表	吉村 智美
11	下松市連合婦人会	会長	古田 尊子
12	中国運輸局山口運輸支局	首席運輸企画専門官	秋本 由美
13	私鉄中国地方労働組合 防長交通支部	書記長	手嶋 謙介
14	中国地方整備局 山口河川国道事務所	交通対策課長	大下 孝志
15	山口県周南土木建築事務所	企画調査室主幹	西村 一隆
16	下松市	建設部長	古本 清行
17	下松警察署	交通課長	行徳 祐二
18	徳山工業高等専門学校	土木建築工学科教授	古田 健一
19	山口県観光スポーツ文化部	交通政策課長	末富 芳伸
20	下松商工会議所	専務理事	安野 政行
21	下松商業開発株式会社	代表取締役	金織 平浩